

横浜経済活性化特別委員会行政視察概要

1 視察月日 平成22年8月23日（月）～8月24日（火）

2 視察都市及び視察事項

（1）新潟県新潟市

商店街空き店舗対策事業について

（2）新潟県新潟市（新潟地下開発株式会社）

地域経済活性化に向けた誘客事業について

3 視察委員

副委員長 石 渡 由紀夫

委 員 飯 田 助 尚

委 員 川 辺 芳 男

視察概要

新潟県新潟市

1 視察月日

8月23日（月）

2 対応者

市議会事務局調査課主査（受け入れあいさつ）

経済・国際部商業振興課長（説明）

同 商業振興係主幹（説明）

新潟市上古町商店街振興組合専務理事（説明）

同 管理責任者（説明）

3 視察内容

商店街空き店舗対策事業について

（1）事業概要

・ 背景

新潟市上古町商店街は、白山神社につながる門前商店街として栄えてきたが、近年は店主の高齢化による店舗の廃業が目立つようになり、空き店舗が年々ふえ続けていることが商店街の衰退へとつながっていた。このような背景を踏まえ、商店街の活気を取り戻すべく、魅力ある商店街をつくることを目指し、商店街活性化事業の一環として「商店街空き店舗対策事業」を展開した。

・ 概要

商店街空き店舗対策事業は、対象団体が空き店舗を賃借し、コミュニティー施設や共同店舗として運営する事業に対して、費用助成を行うものである。

ア 対象団体

商店街（会）・商工会等の組織

イ 補助率等

空き店舗改装費の30%（限度額2億円）

賃借料の50%（限度額300万円）

・ 効果

商店街空き店舗事業の活用と商店街独自の努力により、現在では若者向けの個性豊かな雑貨店や老舗店など、道の両側に約110店舗のさ

さまざまな業種の店がひしめき合っている。また、情報発信についても積極的に行っており、かつてのにぎわいを取り戻してきている。

(2) 質疑概要

Q アーケードの改修についてはどうだったのか。

A これまでの暗いイメージを払拭するため、明かりを取り入れることや、歩道を利活用するなどの工夫をして、お客さまが買い物しやすいように設計した。

Q 空き店舗を埋めていくための工夫には何があったか。

A もちろん、費用助成があって初めて成り立つものであるが、近隣の大学生等に打診して、共同経営などでベンチャー的に出店してもらうケースが多かった。

Q 今後の課題は何か。

A 郊外の大型店や百貨店との差別化や、お客さまのニーズにあった店舗構成をしなければならないと考えている。

(3) 委員所見

まずは空き店舗を埋めること、そして安定させることが肝要だと考える。その上で、地域全体で活性化に向けたフォローをしていく必要がある。



〔新潟市議会にて説明聴取〕

新潟県新潟市（新潟地下開発株式会社）

1 視察月日

8月24日（火）

2 対応者

新潟地下開発株式会社代表取締役社長（受け入れあいさつ及び説明）
同 営業開発部長（説明）

3 視察内容

地域経済活性化に向けた誘客事業について

（1）事業概要

- ・ 1976年に新潟市の西堀通り地下にオープンした西堀地下商店街（西堀ローサ）は、ピーク時である1991年度には売り上げ約50億円を記録したものの、バブル崩壊以降は急速に業績が悪化し、2007年度には売り上げが約16億円まで落ち込むと同時に、テナントが退店していくという悪循環を招いていた。

このような状況の中で、一部には好調な売り上げを維持している店舗もあったため、まずは空き店舗を埋めることに専念し、主な退店の要因である「ほかのショッピングセンターより割高な賃料条件」、「テナントとのコミュニケーション不足」、「旧態依然としたテナント指導」などの課題解決に向けて取り組んだ結果、2010年4月23日に23店舗が一斉に新規オープンし、空き店舗の解消に成功した。

- ・ 西堀地下商店街（西堀ローサ）の現況

ア 店舗数

全46店舗（9店舗は新潟市関連施設）

イ 年商

約12億円（平成21年度）

（2）質疑概要

Q 西堀ローサの特徴は何か。

A 日本で唯一の鉄道駅に隣接していない地下街であり、立地条件としてはたいへん厳しい状況である。

Q 店舗誘致の方策はどのようなものか。

A 店舗誘致に当たっては、近隣地域の企業のみならず、有名ブランドや大手企業などを含め、日本全国を対象にして行った。また、空き店

舗が多い中での出店に伴う不安については、新規店舗を一斉に開店させることにより、それぞれの不安を解消させることに成功した。

Q 今後の課題等をどのように考えているか。

A まだスタートラインに立ったばかりであり、今後は業績向上に向けた取り組みを実施する。また、買い物しやすい環境づくりのため、バリアフリーにも力を入れていきたいと考えている。

(3) 委員所見

空き店舗解消の取り組みについて、考え方一つで効果が顕著にあらわれることがよくわかった。今後にもぎわいのある商店街を継続していくための動向を見守っていきたい。



〔西堀ローサの様子〕